

令和2年度

# 事業報告

(自)令和 2年 4月 1日

(至)令和 3年 3月31日

〒525-0032

滋賀県草津市大路2丁目11-33

社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会

(法人番号：3160005008400)

理事長 石野 富志三郎

## 法人本部事業報告(4月～3月)

### ① 法人関連会議開催状況

#### (1) 理事会の開催

- 第1回理事会 2020年6月8日(月) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第2回理事会 2020年12月17日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第3回理事会 2021年3月4日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター

#### (2) 評議員会の開催

- 第1回評議員会 2020年6月27日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第2回評議員会 2021年3月27日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター

#### (3) 運営協議会の開催

- 2021年3月30日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター

#### (4) 経営会議 理事長、常務理事、事務局長、3施設所長、副所長

- 第1回経営会議 2020年4月21日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 臨時経営会議 2020年5月14日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第2回経営会議 2020年7月15日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第3回経営会議 2020年8月27日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第4回経営会議 2020年9月28日(月) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第5回経営会議 2020年11月18日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第6回経営会議 2020年12月10日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第7回経営会議 2021年1月26日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第8回経営会議 2021年2月24日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第9回経営会議 2021年3月17日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター

#### (5) 人事委員会

- 第1回人事委員会 2020年6月12日(金) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第2回人事委員会 2020年8月27日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第3回人事委員会 2020年11月26日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第4回人事委員会 2020年12月1日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第5回人事委員会 2021年1月14日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第6回人事委員会 2021年1月26日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第7回人事委員会 2021年2月16日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター

#### (6) 法人理念検討チーム

- 第1回チーム会議 2020年10月9日(金) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第2回チーム会議 2020年11月12日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第3回チーム会議 2021年1月15日(金) びわこみみの里
- 第4回チーム会議 2021年2月17日(水) びわこみみの里

#### (7) 利用者拡大検討チーム

- 第1回チーム会議 2020年11月24日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第2回チーム会議 2021年1月7日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第3回チーム会議 2021年2月16日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター

#### (8) 高齢聴覚障害者のニーズ調査委員会

- 第1回委員会 2020年11月4日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第2回委員会 2021年3月26日(金) 滋賀県立聴覚障害者センター

## (9) 県対要望

県障害福祉課 2020年10月28日(水) 滋賀県庁  
県/ 酒見障害福祉課長、高橋参事、石田課長補佐、奥山労働雇用対策課長、出口広報課長  
法人/石野理事長、木下常務理事、中村理事、小竹副所長、中西事務局長

## (9) 監査

- 内部監査 2020年5月19日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
  - ・出席/法人監事、理事長、常務理事、事務局長、施設所長、副所長、会計責任者、出納担当
  - ・内容/2019年度事業報告及び決算等

## (10) 職員組合との交渉

2020年9月30日(水)、10月28日(水)、12月25日(金) 2021年2月1日(月)、2月12日(金)、2月22日(月)、3月22日(月)

## (11) 職員組合への説明 (就業規則改正案、職員給与規程改正案等)

2020年12月23日(水)

## ② 自主事業の実施

### (1) 法人季刊誌「BIWAKO33だより」の発行

- ①第96号 2020年4月10日発行(1,000部)
- ②第97号 2020年7月10日発行(1,000部)
- ③第98号 2020年10月10日発行(1,000部)
- ④第99号 2021年1月10日発行(1,000部)

### (2) 法人合同職員研修

#### ① 新任職員研修

日程：2020年6月2日～6月30日 計7回 正規職員2名、非正規職員3名  
会場：滋賀県立聴覚障害者センター、びわこみみの里、湖北みみの里

#### ② 法人職員合同研修

日程：2020年7月25日(土)  
会場：滋賀県立聴覚障害者センター 全職員  
テーマ：ミニシンポジウム「法人の理念策定とそれを実現するための事業運営のあり方」  
グループワーク  
日程：2020年7月25日(土)  
会場：滋賀県立聴覚障害者センター 全職員  
テーマ：ミニシンポジウム「法人の理念策定とそれを実現するための事業運営のあり方」  
グループワーク

### (3) 第20回聴覚障害者の社会的自立を考えるセミナー

日程：2020年11月3日(火・祝)  
会場：草津市立まちづくりセンター  
テーマ：「ひとりぼっちをなくそう 実践から学び取り組みにいかそう」  
参加者：76名(まちづくり：64名/湖北みみの里：12名)

## ③ その他

### (1) 横江社会保険労務士との契約(諸規程や労務管理の助言)

相談：2020年4月15日(水)、4月27日(月)、5月13日(水)、25日(月)、  
6月18日(木)、7月16日(木)、8月21日(金)、9月11日(金)  
12月9日(木)、2021年1月8日(金)、13日(水)、2月2日(火)、24日(水)、  
3月10日(水) 24日(水)、メール・電話

### 糞谷社会保険労務士との契約(給与体系の助言)

相談：2020年6月5日（金）、6月19日（金）、7月7日（火）、20日（月）、8月3日（月）、17日（月）、9月4日（金）、10月8日（木）、29日（木）、12月16日（水）

## （2）ダイトロン福祉財団助成申請

- ・法人本部「滋賀県における高齢聴覚障害者のニーズ調査研究」採用
- ・湖北みみの里 「福祉車両」不採用

## （3）近畿合同機構への参画

zoom 会議：2020年7月6日（金）、8月7日（金）  
経営交流会：2020年10月14日（水）

## （4）全国聴覚言語障害者福祉研究交流会（京都開催）への協力

Zoom 会議：2021年2月2日（火）

## （5）県・各市手話言語条例への協力

- ・大津市手話施策推進協議会
- ・米原市手話施策推進協議会

# 滋賀県立聴覚障害者センター事業報告

## ① 滋賀県立聴覚障害者センター運営・事業

### 1. 施設の管理運営

滋賀県との委託契約により、滋賀県立聴覚障害者センターの管理運営を行いました。

### 2. 利用状況

○年間のべ利用者数

5,488人（聴覚障害者／2,120人＝39% 聴覚障害者以外／3,368人＝61%）

○月平均利用者数

457人

○来所総累計 人

|    |       |
|----|-------|
| 個人 | 1,044 |
| 団体 | 4,444 |

○利用者内訳

| 団体名       | 人数    | 団体名       | 人数  | 団体名         | 人数    |
|-----------|-------|-----------|-----|-------------|-------|
| ろうあ協会     | 1,235 | 法人後援会関係   | 402 | センター・法人事業関連 | 2,806 |
| 中途失聴難聴者協会 | 309   | 要約筆記関係    | 97  | その他         | 287   |
| 手話通訳関係    | 464   | 字幕ボランティア他 | 64  | 関連団体        | 220   |
| 手話サークル関係  | 6     | 合計        |     |             | 5,488 |

### 3. 滋賀県立聴覚障害者センターの管理運営事業

#### (1) 聴覚障害者等に対する生活相談の実施

- 滋賀県内の聴覚障害者や家族、機関からの相談に年間154件対応しました。
- 統計は、相談者の人数（機関などからの相談は1件）です。  
生活相談担当1名分（きこえない相談員）です。

#### 1) 相談内容別件数

|     |    |    |    |      |    |    |    |           |     |     |
|-----|----|----|----|------|----|----|----|-----------|-----|-----|
| 生活  | 労働 | 教育 | 医療 | 福祉情報 | 施設 | 法律 | 聴力 | コミュニケーション | その他 | 計   |
| 106 | 13 | 0  | 1  | 0    | 0  | 10 | 0  | 15        | 9   | 154 |

## 2) 相談受付経路

|        |    |        |     |     |
|--------|----|--------|-----|-----|
| 相談受付経路 | 本人 | 家族・関係者 | 機関  | 合計  |
| 人数     | 38 | 9      | 107 | 154 |

- 新型コロナウイルスの影響などで相談来所が減少しています。
- 相談内容は、生活や法律に関しては、他の専門機関と連携して、解決に向けて継続して支援を行っています。施設に関しては、びわこみみの里と連携してコミュニケーション支援や、生活への支援などを継続的に行っています。労働に関しては、職場で相談できる人がいないようなケースが多かった。合理的配慮での課題を解決していくかを助言しました。教育相談的問題について客観的な情報が把握できていません。
- 相談経路では関係機関からの相談が一番多く、市町福祉事務所が抱えているケースについて一緒に取り組みました。どこに相談していいのかわからない方からの電話やメールが増えています。
- 近畿レベルの聴覚障害者相談支援担当者等とのネットワークの構築  
「近畿ブロック聴覚障害者相談支援従事者連絡会」の幹事として大阪・京都・兵庫の聴覚障害者相談支援担当者と一緒に取り組みました。  
2021年3月12日において初めてオンライン研修「近畿ブロック聴覚障害者相談支援従事者研修会」で会場を繋ぐ方法に取り組みました。近畿の参加者は28名でした。オンライン研修は移動時間が短縮されて参加できてよかったなどという意見がありました。

## (2) 手話通訳者の派遣

- 手話通訳業務担当(2名)
  - ・聴覚障害者センター利用者及び関係機関担当者等との意思疎通の支援を実施しました。(248件/設置事業含む)
  - ・手話通訳者養成事業や現任者の研修企画、運営など手話通訳関連業務を担当しました。

## (3) 情報機器の貸出

### ○情報機器貸出数

| 貸出機器            | 台数  |
|-----------------|-----|
| 磁気ループ           | 13  |
| オーバーヘッドカメラ(OHC) | 9   |
| プロジェクター         | 17  |
| PC              | 57  |
| スクリーン           | 17  |
| 補聴器             | 3   |
| その他(※)          | 103 |
| 合計              | 219 |

(※)その他の貸出機器 ループ延長コード・マイク・PC接続キット、TV・DVD等。

## (4) その他

### ① 広報誌「センターだより」の発行

- 年4回(第97号～第100号)発行
  - ・第97号…令和2年4月10日発行(1000部)  
「ニュース」の企画・立案、制作のノウハウを学ぶ」他
  - ・第98号…令和2年7月10日発行(1000部)  
「遠隔手話サービスのシステム導入について」他
  - ・第99号…令和2年10月10日発行(1000部)  
「効率的かつ包括的な手話通訳者養成へ向けて」他
  - ・第100号…令和3年1月10日発行(1000部)

「出前講座に取り組んでいます」他

## ②その他

○聴覚障害者情報ネットワーク事業の実施

ホームページ・メールマガジンによる情報発信

○特定非営利活動法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会の理事および聴覚障害者の情報メディアに関する専門委員会へ委員選出

## ② 2020(令和2)年度 聴覚障害者コミュニケーション確保対策事業

### 1. 手話通訳者養成・研修事業

#### (1) 手話通訳者養成事業

| 講座         | 開講期間               | 修了/受講<br>(人数) | 会場                             |
|------------|--------------------|---------------|--------------------------------|
| 通訳Ⅰ(夜コース)  | 6月6日(土)～2月13日(土)   | 8/8           | 能登川コミュニティセンター                  |
| 通訳Ⅰ(夜コース)  | 6月6日(土)～2月13日(土)   | 10/10         | 滋賀県立聴覚障害者センター                  |
| 通訳ⅡⅢ(昼コース) | 5月14日(木)～11月21日(土) | 7/7           | 能登川コミュニティセンター<br>滋賀県立聴覚障害者センター |
| 通訳ⅡⅢ(夜コース) | 5月14日(木)～11月21日(土) | 9/9           | 草津市立まちづくりセンター<br>滋賀県立聴覚障害者センター |

○講座では手話通訳の理念や活動に関連した知識の学習や、文章・手話の要約やポイントをまとめるなど「翻訳」の力を伸ばす学習、また、場面を想定して通訳等を行うロールプレイの演習、実際場面での通訳実習等を取り入れました。

○講座の運営にあたっては手話通訳者養成講座担当講師会議を開催し、その都度協議を行いながら指導内容の向上に努めました。

○全国手話研修センターが実施する講師研修への参加費用を補助し、講師の指導力向上を図りました。

・手話奉仕員養成講座講師ブロック研修会【近畿ブロック】1名

#### (2) 手話通訳者認定試験

○手話通訳者全国統一試験には、養成ⅡⅢ課程修了生16名と昨年度までの修了生を含め27名が受験を申し込み、26名が受験しました。合格者は6名でした。

(合格率:全国20.92% 滋賀23.07%)

○滋賀県登録手話通訳者認定審査実施要綱に基づき、各団体(滋賀県ろうあ協会、滋賀県手話通訳問題研究会、滋賀県手話通訳士会)から推薦されたメンバーで構成された、滋賀県登録手話通訳者認定審査委員会を設置しました。

#### (3) 手話通訳者現任研修

○登録手話通訳者を対象に、手話通訳の「価値・倫理」、「知識」、「技術」、「健康」をテーマについて研鑽を行い資質向上をめざして開催しました。

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での受講人数に制限を設け、インターネットを利用した期限付き動画受講を併用しました。3回の研修に動画研修を導入し、延べ137名と多くの研修参加となりました。

○手話通訳分野の中でも、コミュニティ通訳における手話通訳者の倫理について学びました。多言語のコミュニティ通訳を専門とする飯田奈美子氏に、事例を取り上げながら講義をいただき、言語通訳にありがちな現象を元に自らの手話通訳に置き換えて考えることができました。

○「聞いて理解する」をテーマに国語学習を行いました。講師は、元国語教師である和歌山県橋本市の手話通訳士、田中三津子さんをお願いしました。日本語の特徴がよくあらわれる話のパターンと助詞の関係を知ることにより、「予測ができる聞き方」を身に付け、手話通訳に活かす学習ができました。

○障害者権利条約について、権利条約の持つ意味とこれまでの歴史、今後の課題などを学びました。全日本ろうあ連盟の中西久美子氏の講演は、パラレルレポート作成の実務から最前線の状況を中心に深い知識

学習となり、要約筆記者とも課題の共有となりました。

○「総務省テレビジョン放送における手話通訳育成に関する研修会」で使用される学習教材 4 本が、(株)アステムより情報提供施設へ提供されました。本来は、手話通訳士及びテレビ通訳を担う通訳者を対象に開催される研修ですが、手話通訳者を収録するオンライン研修等の増加に対応するためすべての登録通訳者を対象に、3 日間 6 回に分けて開催しました。延べ 74 名の参加がありました。

|  | 日時／会場                                   | 研修テーマ／講師   | 参加人数                           |
|--|---|--|--------------------------------|
| ①  | 4月26日(日)<br>草津市立まちづくりセンター               | 「手話通訳者・要約筆記者がいきいきと活動するために」<br>健康管理学習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。(資料のみ送付)                   | 中止                             |
| ②  | 7月11日(土)<br>10時～12時<br>近江八幡市総合福祉センター    | 「対人援助における通訳者の倫理-事例から考える-」<br>講師 飯田 奈美子氏 多言語コミュニティ通訳ネットワーク                                  | 会場参加 26名<br>インターネット動画研修<br>36名 |
| ③  | 7月11日(土)<br>12時30分～13時<br>近江八幡市総合福祉センター | 新規登録手話通訳者対象<br>「健康管理学習」説明/派遣担当職員   | 3名                             |
| ④  | 8月29日(土)<br>13時30分～15時30分<br>聴覚障害者センター  | 「手話通訳者の国語-聞いて理解する日本語の力」<br>講師 田中 三津子 元国語教師 橋本市役所手話通訳士                                      | 会場 13名<br>インターネット動画研修<br>49名   |
| ⑤  | 1月23日(土)<br>10時～12時<br>聴覚障害者センター        | 「障害者権利条約 パラレルレポート作成の取り組み」<br>講師 中西 久美子 全日本ろうあ連盟理事  | 会場 15名<br>インターネット動画研修<br>52名   |
| 令和2年度総務省「テレビジョン放送における手話通訳育成に関する研修」 動画研修<br>会場はいずれも聴覚障害者センター 提供:株式会社 アステム |   |  |                                |
| ⑥  | 3月2日(火)<br>10時～12時                      | 「テレビジョン通訳における身だしなみ」<br>講師 柳 喜代子 目で聴くテレビディレクター<br>「テレビジョン放送における手話表現」<br>講師 大杉 豊 日本手話研究所事務局長 | 17名                            |
|  | 3月2日(火)<br>19時～21時                      | 「テレビジョン通訳における身だしなみ」<br>講師 柳 喜代子 目で聴くテレビディレクター<br>「テレビジョン放送における手話表現」<br>講師 大杉 豊 日本手話研究所事務局長 | 7名                             |
|  | 3月17日(水)<br>10時～12時                     | 「テレビの手話通訳」<br>講師 江原 こう平 東京手話通訳等派遣センター<br>「ろう者にニュースを伝える」<br>講師 赤堀 仁美 日本手話研究所                | 14名                            |
|  | 3月17日(水)<br>18時30分～21時                  | 「テレビの手話通訳」<br>講師 江原 こう平 東京手話通訳等派遣センター<br>「ろう者にニュースを伝える」<br>講師 赤堀 仁美 日本手話研究所                | 7名                             |
|  | 3月21日(日)<br>10時～12時                     | 「テレビジョン通訳における身だしなみ」<br>講師 柳 喜代子 目で聴くテレビディレクター<br>「テレビジョン放送における手話表現」                        | 11名                            |

|                     |  |   |     |
|---------------------|--|---|-----|
|                     |  | 講師 大杉 豊 日本手話研究所事務局長   |     |
| 3月28日(日)<br>10時～12時 |  | 「テレビの手話通訳」<br>講師 江原 こう平 東京手話通訳等派遣センター<br>「ろう者にニュースを伝える」<br>講師 赤堀 仁美 日本手話研究所 | 18名 |

○手話通訳活動の休止から活動再開をする通訳者をはじめ、登録手話通訳者が自由に参加する手話トレーニングを開催しました。6回の開催に延べ18人の参加がありました。聞き取り表現学習、読み取り学習に加え、DVD等を活用し、ろう者の表現から学ぶ学習を行いました。

○新規登録者3名を対象に、新規登録者研修を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会の開催が減少し、新規登録者を派遣する現場も減少しました。新規登録者3名が少なくとも1回派遣された時点で振り返り研修を行いました。(11月5日)

## 2. 要約筆記者養成・研修事業

### (1) 要約筆記者養成事業

| 講座          | 開講期間             | 修了/受講<br>(人数) | 会場            |
|-------------|------------------|---------------|---------------|
| パソコンコース(後期) | 4月7日(火)～8月25日(火) | 5/7           | 滋賀県立聴覚障害者センター |
| 手書きコース(前期)  | 10月6日(火)～3月2日(火) | 13/14         | 滋賀県立聴覚障害者センター |

○パソコンコース(後期)では、前期に習得した要約筆記の基本的技術に加え実践的な学習を行いました。理論では「聴覚障害者の運動史」、「対人援助」、「中途失聴者・難聴者の臨床心理」、「通訳者の倫理」など、また技術面では「ノートテイクの技術」を始め、「場面对応」、「派遣現場での事例検討」などから基本的な考え方を習得しました。

○手書きコース(前期)では、県、市町意思疎通支援事業に対応できる技術をもった要約筆記者の養成を目標に、聴覚障害に関する基礎知識、日本語の特徴、語彙と用法、日本語表記など基礎的知識を学んだうえで、要約筆記事業の位置づけ、要約筆記の目的を理解したのちに要約筆記における表記、意図を伝える要約の実習を重ね、最終講では福祉サービスの担い手としての役割を習得しました。

### (2) 要約筆記者認定試験

(一社)要約筆記者認定協会の主催で実施しました。

○実施日:2月21日(日) 滋賀県立聴覚障害者センター

○受験者数:手書き 3名 パソコン 4名 手書き・パソコン両手法 1名

○合格者:手書き 1名 パソコン 1名 手書き・パソコン両手法 1名

(全国合格率:手書き 35%、パソコン 39% 滋賀合格率:手書き 50%、パソコン 40%)

・養成講座修了後、試験対策講習会を12月と1月に計4回開催しました。実技に重点をおき、手書き、パソコンとも内容をつかむ書き方、入力を特に強化しました。

### (3) 指導マネジメント講座

○指導者を対象に、養成講座における指導ポイントや指導者が習得しておくべき内容、疑問点などを確認し、意見交換を行いました。また、前年度の全国要約筆記指導者養成研修の受講者からの報告も実施しました。

実施日:6月16日(火)

受講者数:手書き指導者6名、パソコン指導者5名、難聴指導者3名。合計14名

### (4) 要約筆記者現任研修

○登録要約筆記者を対象に、資質向上をめざして6回開催しました。研修会は、「価値・倫理」、「知識」、「技術」、「健康」をテーマに開催しました。



- 人工内耳をテーマにした研修を10年ぶりに実施しました。講師は、人工内耳友の会滋賀支部長の野瀬喜平氏にお願いしました。専門用語の解説は実物を見ながら行い、理解を深めました。また、要約筆記者も友の会とともに歩むことをお願いしたいという要望があり、要約筆記の技術だけではなく、寄り添う姿勢も大切だとわかりました。
- 「確実な通訳を実践するために」と題したパソコン要約筆記者向けの講義と実習を行いました。講師は、全国要約筆記問題研究会理事長の山岡千恵子氏にお願いしました。実習の検証も行いましたが、近年は要約筆記者同士で検証しあう機会がほとんどなかったため、弱点や課題が見つけれ、有意義な時間となりました。
- 「現場での共有情報の活かし方」と題した手書き要約筆記者向けの講義と実習は、全国要約筆記問題研究会理事長の山岡千恵子氏に講師をお願いしました。手書きはパソコンに比べると表出が遅くなるため、要約力と共有情報の活用はより重要となります。また、時間短縮のための表現方法の工夫を教わり、テクニックが増しました。
- 「最新の補聴援助システムについて・ヒアリンググループ体験」と題し、研修会を行いました。講師は、滋賀県中途失聴難聴者協会事務局長の町田晴彦氏にお願いしました。講師の実体験に基づく難聴の聞こえ方や様々な場面での困りごとなどを聞くことができ、知識が深まりました。またヒアリンググループの特性なども習得できました。

|   | 日時/会場                                   | 手法  | 研修テーマ/講師   | 参加人数                            |
|---|---|-----|--|---------------------------------|
| ① | 4月26日(日)<br>草津市立まちづくりセンター               | 共通  | 「手話通訳者・要約筆記者がいきいきと活動するために」<br>健康管理学習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。(資料のみ送付) | 中止                              |
| ② | 7月12日(日)<br>13時30分～15時<br>草津市立まちづくりセンター | 共通  | 「人工内耳の専門用語と滋賀県における人工内耳の現状と課題」<br>講師 野瀬 喜平 人工内耳友の会滋賀支部長                   | 30名                             |
| ③ | 8月23日(日)<br>13時30分～16時<br>聴覚障害者センター     | PC  | 「確実な通訳を実践するために」<br>講師 山岡 千恵子 全国要約筆記問題研究会理事長                              | 11名                             |
| ④ | 9月27日(日)<br>13時30分～16時<br>県立男女共同参画センター  | 手書き | 「現場での共有情報の活かし方」<br>講師 山岡 千恵子 全国要約筆記問題研究会理事長                              | 10名                             |
| ⑤ | 1月23日(土)<br>10時～12時<br>聴覚障害者センター        | 共通  | 「障害者権利条約 パラレルレポート作成の取り組み」<br>講師 中西 久美子 全日本ろうあ連盟理事                        | 会場 3名<br>インターネット<br>動画研修<br>13名 |
| ⑥ | 3月21日(日)<br>13時30分～15時30分<br>聴覚障害者センター  | 共通  | 「最新の補聴援助システムについて・ヒアリンググループ体験」<br>講師 町田 晴彦 滋賀県中途失聴難聴者協会事務局長               | 12名                             |

○新規登録者2名を対象に実技研修(PC)を行い、設営方法や連係入力などを習得しました。

### 3. 意思疎通支援者(手話通訳者・要約筆記者)派遣事業

#### (1) 手話通訳者派遣事業

- 登録手話通訳者数 135名(内、手話通訳士42名含む)
- 通訳内容の主訴を把握し、依頼者の要望に応じた派遣の実施に努めました。また、手話通訳者の健康にも配慮しました。
- 手話通訳の健康対策の一環として頸肩腕検診と講習会を実施しました。
- 派遣実施状況

|      | 県事業 | 公的事業 | 合計  |
|------|-----|------|-----|
| 派遣件数 | 39  | 227  | 266 |
| 派遣人数 | 68  | 357  | 425 |

○県事業は、県の機関が主催する行事や、県内の聴覚障害者団体が主催または共催する広域な行事に派遣しているものです。滋賀県ろうあ協会が主催する行事や会議、滋賀県中途失聴難聴者協会、盲ろう者友の会など

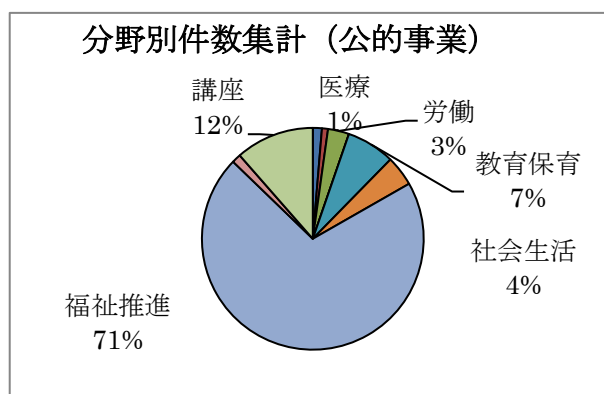
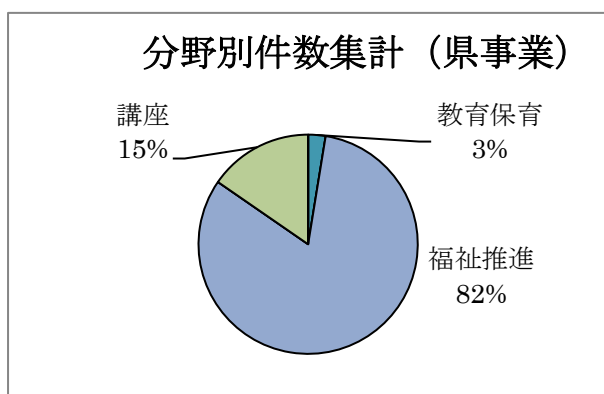
当事者団体の行事や会議にも派遣を行っています。前年と比較して37件減です。新型コロナウイルス感染防止のため、当事者団体の行事や障害施策検討会などが中止され、派遣依頼が減少しました。

○「遠隔手話サービスを利用した聴覚障害者の意思疎通支援体制の強化」事業を開始しました。(2020年11月30日)。それに先駆け、市町意思疎通支援担当者会議にあわせて、遠隔手話サービスについて説明を行いました(8月26日)。新型コロナウイルスに関する検査・治療場面に特化し、遠隔派遣システムを構築しました。実際の利用はありませんでした。

○公的事业は、公的な機関や団体が予算化した行事や集会などへ派遣しているものです。同様に新型コロナウイルス感染防止のため事業が中止され、手話通訳の派遣が減少しました。

| 県事業 | 医療 | 人権 | 労働 | 住居 | 教育<br>保育 | 社会<br>生活 | 福祉<br>推進 | 文化<br>教養 | 講座 | 放送 | 啓発<br>講座 | 合計 |
|-----|----|----|----|----|----------|----------|----------|----------|----|----|----------|----|
| 件数  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1        | 0        | 32       | 0        | 6  | 0  | 0        | 39 |
| 人数  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2        | 0        | 57       | 0        | 12 | 0  | 0        | 71 |

| 公的事业 | 医療 | 人権 | 労働 | 住居 | 教育<br>保育 | 社会<br>生活 | 福祉<br>推進 | 文化<br>教養 | 講座 | 放送 | 啓発<br>講座 | 合計  |
|------|----|----|----|----|----------|----------|----------|----------|----|----|----------|-----|
| 件数   | 3  | 2  | 7  | 0  | 16       | 10       | 160      | 3        | 26 | 0  | 0        | 227 |
| 人数   | 3  | 3  | 8  | 0  | 28       | 15       | 261      | 6        | 33 | 0  | 0        | 357 |



## (2) 要約筆記者派遣事業

○登録要約筆記者数 73名

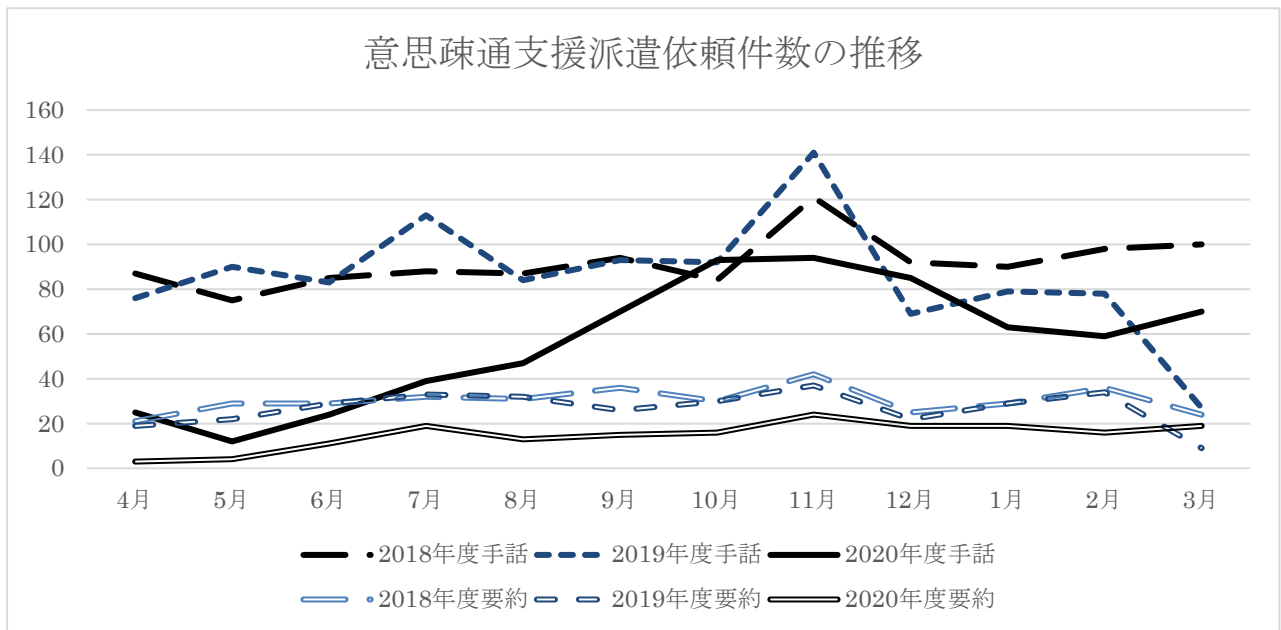
○通訳内容の主訴を把握し、依頼者の要望に応じた派遣の実施に努めました。また、要約筆記者の健康にも配慮しました。

○要約筆記者の健康対策の一環として頸肩腕検診を実施しました。

○派遣実施状況

|      | 県事業 | 公的事业 | 合計  |
|------|-----|------|-----|
| 派遣件数 | 37  | 26   | 63  |
| 派遣人数 | 131 | 75   | 206 |

○県事業は、県の機関が主催する行事や、県内の聴覚障害者団体が主催または共催する広域な行事に派遣しているものです。滋賀県中途失聴難聴者協会、人工内耳友の会など当事者団体の行事や会議にも派遣を行っています。新型コロナウイルス感染防止のため、当事者団体の行事が中止され、派遣依頼が減少しました。前年と比較して29件減です。



○公的事业は、公的な機関や団体が予算化した行事や集会などへ派遣しているものです。同様に新型コロナウイルス感染防止のため事業が中止され、要約筆記の派遣が減少しました。前年と比較して33件減です。

#### 4. 市町域・都道府県を超える意思疎通支援者(手話通訳者・要約筆記者)派遣調整事業

[実施内容]

○意思疎通支援の派遣において、市町域間、都道府県域を超えての派遣が必要な時に、市町からの要請を受けて、派遣先の関係機関(団体等)との派遣調整を行いました。市町が直接県外の派遣センターに依頼ができるよう働きかけをしました。

#### 5. 手話通訳者設置事業

○手話通訳業務担当(1.5名)

- ・手話通訳業務では、専門的な内容や継続的なケースへの対応をはじめ、関係機関との連携したケースの対応等を行いました。(204件/管理運営担当職員分含む)
- ・手話通訳者派遣事業のコーディネート担当としての業務やそれに関連する事務、また、研修会の企画、運営などを担当しました。
- ・市町との連携では、市においては障害福祉担当者、設置手話通訳者等と連携しながら手話通訳を実施し、町においては、障害福祉担当職員と連携を図りながら、暮らしに関わる助言等を行いました。

#### 6. 聴覚障害者生活訓練事業

(1) 日曜教室事業

1) いきいき情報教室の開催

- 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、4月～6月は「いきいき情報通信」を発行し、感染防止等の新しい情報を聴覚障害者向けにわかりやすくしたチラシを作成し配信しました。
- ウイルス感染拡大が落ち着きを見せた7月から11月は、聴覚障害者の集団学習や交流の場を東近江地域、湖北地域で開催しました。
- テーマは新型コロナウイルス感染予防に関して詐欺の被害を防ぐための消費生活関連や、防災関係の企画を実施しました。防災企画は3月に新型コロナウイルス感染拡大により開催延期になっていたものです。

[いきいき情報通信] ウイルス感染拡大による自粛期間中の情報発信

|   | テーマ                                   | 内容                                   |
|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
| ① | 2020.4.25号: 新型コロナウイルスに便乗したマスク販売に気を付けて | 高値で販売する広告に注意を促し、適切なマスク販売基準があることを周知する |
| ② | 2020.5.1号: 給付金 詐欺の相談窓口は国              | 国民給付金の詐欺手口が全国で確認され、給付金の相             |

|   |  |   |
|---|--|---|
|   | 民生活センター                                  | 談窓口、消費者ホットライン窓口を周知する                    |
| ③ | 2020.5.15号:非常事態宣言 解除されても3密は避けて           | 「新しい生活様式」をわかりやすく説明し、3密を避けることの意味を周知する    |
| ④ | 2020.5.20号:給付金の注意事項 詐欺に注意!! 正しく申請        | 特別給付金の申請が始まり、書類に記入まちがいを防ぐとともに便乗詐欺に注意を促す |
| ⑤ | 2020.5.21号:新しい生活様式 具体例                   | 基本的な感染対策がいくつかあるうち、身体的距離の確保について具体的に周知する  |
| ⑥ | 2020.6.4号:新しい生活様式をとりいれた聴覚障害者センターをご利用ください | 感染防止の取り組みをしている聴覚障害者センターの利用再開を促す         |

[いきいき情報教室] 地域に出向いた日曜教室

|   | 開催地域  | 開催日・会場                                    | 主な内容  | 参加人数 |
|---|-------|---|---|------|
| ① | 近江八幡市 | 7月8日(水)<br>13時30分～15時<br>男女共同参画センター       | 「詐欺や消費トラブルを知ろう～新型コロナ禍の今だから～」<br>講師:滋賀県消費生活センター<br>井関 真子氏                                | 10名  |
| ② | 長浜市   | 10月21日(水)<br>13時30分～15時30分<br>虎姫まちづくりセンター | 「いざメシを作ろう! 防災カフェ」<br>講師:長浜市ボランティアセンター<br>浅田かず子氏   | 12名  |
| ③ | 東近江市  | 11月14日(土)<br>10時～12時<br>能登川コミュニティセンター     | 「体験型の防災学習」～災害時にわたしたちにできることや避難所での過ごし方がかんがえよう<br>講師:NPOしがいち防災研究所<br>※滋賀県聴覚障害者災害地域救援本部との共催 | 32名  |

2) 中途失聴・難聴者を対象とした暮らしの情報講座

- 中途失聴・難聴者を対象とした集団学習の場を設け、暮らしの情報を学ぶ講座を2回開催しました。
- 高齢者向けに、キャッシュレス決済やフレイル予防など、生活に関することをテーマにとりあげました。
- 「難聴に配慮したわかりやすい指導だった」との感想がありました。また、初めて参加された方もおられ、「次回も参加したい」という声があがりました。

|   | 日時/会場                               | 内容                                    | 参加人数 |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|------|
| ① | 6月21日(日)<br>13時～14時30分<br>聴覚障害者センター | 「キャッシュレスって?」<br>講師:滋賀県金融広報委員会 小野 みゆき氏 | 18名  |
| ② | 3月7日(日)<br>13時30分～15時<br>聴覚障害者センター  | 「フレイル予防って?」<br>講師:理学療法士 岩倉浩司氏         | 14名  |

(2) 手話講習事業

○ 聴覚障害者のための手話学習会

- ・ 新しい生活様式に対応するための ICT 活用法 (Skype や zoom) を実際にやってみて参加者同士でオンラインを実施しました。また「3密」をはじめとする造語、「パンデミック」「クラスター」などといったカタカナ語を学習しました。

|   | 日時/会場                         | 内容                                  | 参加人数 |
|---|-------------------------------|-------------------------------------|------|
| ① | 9月26日(土) 13時～16時<br>聴覚障害者センター | 『新しい生活様式って何?』<br>講師:滋賀県立聴覚障害者センター職員 | 12名  |

○青年講座

- ・2月27日(土)、当センターにて、手話の基本的な文法を学びあい、お互いにわかりやすく通じやすい伝達方法について意見交換しながら学習を進めました。講座には15名の若者が参加しました。

(3)聴力相談事業

○きこえの相談

- ・月1回、土曜日(午前10時～午後4時) 年10回実施  
(4月と5月はコロナウイルス感染拡大防止のため休止)  
うち出張相談4回:高島市内(7月)、甲賀市内(9月)、米原市内(11月)、東近江市内(1月)
- ・相談者の地域分布(人数)

|     |   |     |   |      |   |
|-----|---|-----|---|------|---|
| 高島市 | 5 | 大津市 | 3 | 草津市  | 4 |
| 守山市 | 1 | 野洲市 | 2 | 栗東市  | 4 |
| 湖南市 | 3 | 甲賀市 | 7 | 東近江市 | 3 |
| 日野町 | 1 | 彦根市 | 5 | 長浜市  | 4 |

- ・相談者の年齢構成(人数)

| 10代以下 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 1     | 0   | 0   | 4   | 7   | 5   | 13  | 12  | 42 |

○主な相談内容

- ・相談人数は42名で、相談者の履歴は、初めての方(23名)と再来者(19名)でした。全体の傾向は、70才以上の方が7割を占めています。聞こえに不自由を感じる高齢者の相談ニーズが高まっています。
- ・相談内容の主なものは、「電話の声やテレビの音が聞きとりにくい」、「補聴器をつけてもよく聞こえない」など聞こえについての不安や悩みについての相談や、「家族との間でのコミュニケーションがとりにくい困っている」などの相談が多く見受けられました。
- ・聞こえに関する相談では、補聴器の購入や使い方、身体障害者手帳取得に関する助言などを行いました。

7. 聴覚障害児及び保護者サポート事業

○新型コロナ感染拡大により聴覚障害児やその家族(保護者)が集まる企画は行うことができませんでした。

○その代わりに、家庭で0～3歳の赤ちゃんとのコミュニケーション支援を目的に動画を配信しました。

[保護者学習会(のびのびサロン)]

|   | 日程                       | 場所        | 内容  |                     |
|---|--------------------------|-----------|---|---------------------|
| ① | 6月27日(土)<br>13:30～16:30  | 聴覚障害者センター | 新型コロナウイルスの収束を待って、スタッフ学習会                  | ※感染拡大により講師招聘不可になり中止 |
| ② | 7月5日(日)<br>13:30～16:30   | 聴覚障害者センター | 親子手作り(ろう者の指導を受けながら親子で手作り作業)               | コロナ感染拡大により中止        |
| ③ | 9月19日(土)<br>13:30～16:30  | 聴覚障害者センター | ①親子手話(20分)<br>②学習会(80分)未定<br>③おしゃべり会(40分) | コロナ感染拡大により中止        |
| ④ | 11月28日(土)<br>13:30～16:00 | 聴覚障害者センター | ①親子手作り<br>②おしゃべり会(40分)                    | コロナ感染拡大により中止        |

[聴覚障害児交流企画(クローバークラブ)]

聴覚障害児やその家族の交流が目的の“クローバークラブ”

|   | 日程                                      |                   | 内容                      |              |
|---|---|-------------------|-------------------------|--------------|
| ① | 第1回目 7月19日(日)<br>第2,3回目<br>7~8月の(土)か(日) | 聴覚障害者センター         | 手話ふれあいフェスティバル参加のための作業企画 | コロナ感染拡大により中止 |
| ② | 9月12日(日)                                | コミュニティセンター<br>きたの | 手話ふれあいフェスティバル ※開催中止     | コロナ感染拡大により中止 |
| ③ | 10月31日(日)                               | 聴覚障害者センター         | 交流企画                    | コロナ感染拡大により中止 |

○手話ふれあいフェスティバルに出店する企画を相談し、3回の準備作業を通して実施を計画しましたが、手話ふれあいフェスティバルが中止となりました。

[親子手話 動画配信]

|   | 制作日   | 対象年齢と内容                    |
|---|-------|----------------------------|
| ① | 8月12日 | 0~1歳のあかちゃんと                |
| ② | 8月12日 | 0~3歳のあかちゃんと                |
| ③ | 10月6日 | 0~3歳のお子さんとの会話(指差し)         |
| ④ | 10月6日 | 0~3歳のお子さんとの会話(すき・ちょうだい・いや) |
| ⑤ | 10月6日 | 0~3歳のお子さんとの会話(感染防止の手洗い)    |

## 8. 手話通訳士養成講座開催事業

○手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)の2020年度受験者を対象にした「試験対策コース」と、将来的に受験を予定している方を対象にした「目指すコース」を実施しました。

滋賀県手話通訳士会の協力を得て講師体制を整え、個別指導を強化するなど講座の充実に努めました。

| 講座      | 開催日時  | 受講人数 | 会場            |
|---------|---|------|---------------|
| 試験対策コース | 2020年6月20日(土)<br>2020年7月4日(土)<br>2020年8月8日(土)   | 9名   | 滋賀県立聴覚障害者センター |
| 目指すコース  | 2021年1月13日(水)<br>2021年2月10日(水)<br>2021年3月10日(水) | 4名   | 滋賀県立聴覚障害者センター |

※手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)は、コロナウイルス感染拡大により実施されませんでした。

## 9. 字幕入りビデオ制作・貸出し事業

[事業内容]

①聴覚障害者用ビデオの(自主制作)(3本)映像編集をしました。

○「第18回聴覚障害者の社会的自立をめざすセミナー」 60分

○「第19回聴覚障害者の社会的自立をめざすセミナー」 150分

○「日本昔話」字幕挿入作業 2本(60分×2本)

○行政担当職員向けの「手話言語条例」講義(字幕付き) 60分

②ビデオライブラリーの貸出

○ビデオ貸出件数 4件 8本(昨年度7件10本)

○登録者数 聴覚障害者・団体登録者(495名)一般・団体登録者(561名)

[特徴点]

○聴覚障害者への情報提供のために啓発・教材DVDの字幕制作を行いました。

○手話通訳者養成事業と連携し、教材制作や収録を行いました。

○第20回聴覚障害者の社会的自立を目指すセミナーの撮影収録を行いました。

○手話研修センター、全日本ろうあ連盟の依頼で、オンライン研修用のため、講義の収録、編集をしました。

○ビデオライブラリーの目録の更新を行い、最新版の目録を、センターのホームページにアップロードしました。

③聴覚障害者情報提供施設協議会 聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会(中止)

主催:全国聴覚障害者情報提供施設協議会

場所:新潟県 コロナウイルス感染症の影響で研修会は中止になりました。

## 10. 映像配信事業

- ①動画配信/18コンテンツ【YouTube で配信】 再生回数/1,547回  
ホームページからの情報発信 投稿95件

## ③ 市町委託事業

### 1. 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

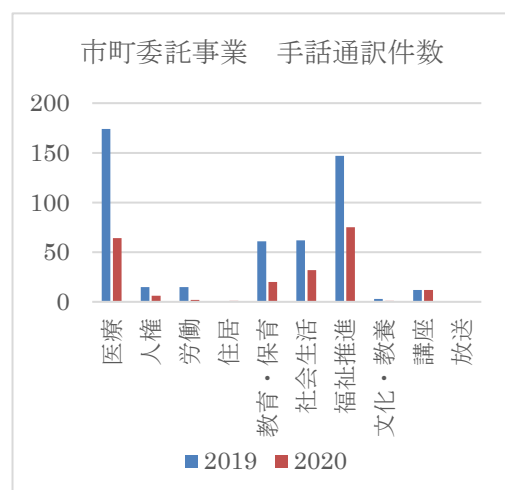
#### (1) 手話通訳者派遣事業

○市町事業は、市町から委託を受けた派遣です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福祉推進のイベントや教育、自治会などの集会の中止があり、昨年度比で276件の減少でした。

○医療場面では、新型コロナウイルス感染防止のため登録手話通訳者の派遣制限をし、また、外出自粛により依頼件数は110件減少し64件となりました。しかし、投薬の継続など短時間でも受診と薬局への通訳依頼はみられ、感染防止を徹底して同行派遣を行いました。

手話通訳件数

|    | 医療 | 人権 | 労働 | 住居 | 教育<br>保育 | 社会<br>生活 | 福祉<br>推進 | 文化<br>教養 | 講座 | 放送 | 啓発<br>講座 | 合計  |
|----|----|----|----|----|----------|----------|----------|----------|----|----|----------|-----|
| 件数 | 64 | 6  | 2  | 1  | 20       | 32       | 75       | 1        | 12 | 0  | 0        | 213 |
| 人数 | 66 | 6  | 3  | 1  | 87       | 42       | 178      | 2        | 23 | 0  | 0        | 349 |



#### (2) 要約筆記者派遣事業

○市町事業は、市町から委託を受けた派遣です。

直営の派遣事業がない市町が大半のため、委託による依頼が多くなっています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福祉推進のイベントなどの中止があり、昨年度比で85件の減少でした。

|    | 医療 | 労働 | 教育<br>保育 | 社会<br>生活 | 文化<br>教養 | 福祉<br>推進 | 合計  |
|----|----|----|----------|----------|----------|----------|-----|
| 件数 | 29 | 0  | 1        | 9        | 7        | 38       | 84  |
| 人数 | 29 | 0  | 1        | 11       | 14       | 111      | 166 |

### 2. 市町手話奉仕員養成事業に係る講師派遣 (受託事業)

市町からの要請に応え講師の派遣を行いました。派遣にあたっては、市町と連携を密にと共に、県事業(手話通訳者養成事業との連携を図り、手話通訳者の拡大に繋がるよう取り組みました。

#### 【講師を派遣した手話講座の実施日程】

- 東近江市・日野町・竜王町手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)

[期 間]2020年9月 3日～2021年 2月 4日 毎週木曜日 19時00分～21時00分

[講座数]全24講座

○近江八幡市手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)

[期 間]2020年7月30日～2020年12月17日 毎週木曜日 19時00分～21時00分

[講座数]全20講座

○守山市手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)

[期 間]2020年9月 3日～2021年 1月21日 毎週木曜日 19時00分～21時00分

[講座数]全21講座

○甲賀市手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)

[期 間]2020年9月29日～2021年 2月24日 毎週火曜日 19時00分～21時00分

[講座数]全20講座

○湖南市手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)

[期 間]2020年8月 4日～2021年 1月12日 毎週火曜日 19時00分～21時00分

[講座数]全23講座

○草津市手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)

[期 間]2020年8月28日～2021年 1月22日 毎週金曜日 19時00分～21時00分

[講座数]全20講座

○高島市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)

[期 間]2020年7月15日～2020年12月23日 毎週水曜日 19時00分～21時00分

[講座数]全23講座

### 3. 登録手話通訳者・要約筆記者の健康管理事業

#### ①健康管理委員会の設置

登録活動者の健康管理や予防対策を目的とした同事業が円滑に行われるよう、関係団体の委員で構成する「健康管理委員会」を設置し、検診の運営及び検診結果や課題に対する検討などを行いました。

#### ②頸肩腕検診の実施

登録手話通訳者122名、要約筆記者56名(活動休止者を除く全員)を対象に一次検診(スクリーニング)、二次検診(特殊検診)を実施しました。一次検診の間診票の回収率は、手話通訳者が91%(昨年96%)、要約筆記者が88%(同90%)でした。二次検診は、草津市内に会場を設け2日間実施しました。昨年度に引き続き、大阪社会医学研究所(検診機関)による問診(血圧測定、身長、体重測定含む)医師による診察、関係団体の協力による「相談ブース」の設置を行いました。

[二次検診の結果] (人)

|       | A判定 | B1判定 | B2判定 | B3判定 | C判定 |
|-------|-----|------|------|------|-----|
| 手話通訳者 | 6   | 28   | 14   | 3    | 0   |
| 要約筆記者 | 0   | 7    | 1    | 0    | 0   |

#### ③検診結果を生かす取り組み

検診の結果を踏まえた派遣業務を行うとともに、派遣事業の直営市に対しては、重複登録者(県と市)の健康管理に生かすため、情報の共有化を図りました。

#### ④衛生教育の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健康管理講習会は中止しました。

## ④ 自主事業

### 1. 聴覚障害者理解のための啓発講座

○依頼団体(機関)と実施数及び受講対象者

【単発】

| 依頼機関 | 件数 | 対象者    | 延べ人数 |
|------|----|--------|------|
| 学 校  | 1  | 学生・教職員 | 80   |
| 企 業  | 1  | 社 員    | 20   |
| 団 体  | 3  | 参加者    | 70   |



【連続】

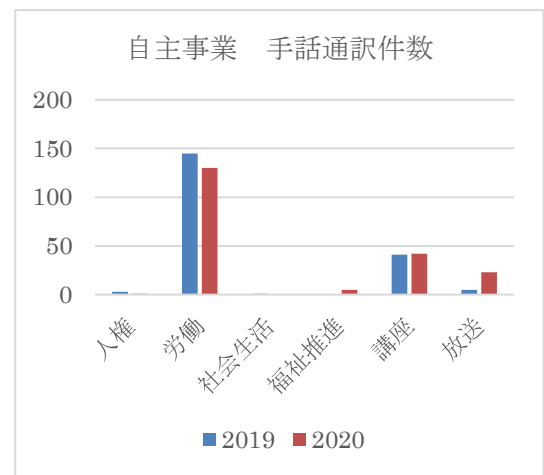
|      |    |     |      |
|------|----|-----|------|
| 依頼機関 | 件数 | 対象者 | 延べ人数 |
| 企業   | 1  | 社員  | 60   |
| 行政   | 4  | 市町民 | 60   |

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、講座依頼が減少しました。また講座の中止となったことは過去にありませんでした。
- 手話奉仕員養成講座の中止に代わり、介護編、地域編のそれぞれ連続3回の講師派遣の依頼があり、高齢聴覚障害者の暮らしやコミュニケーション方法などについての理解を深めてもらうことができました。
- 湖南広域行政組合消防職員に対する研修は毎年実施されており、聴覚障害者の理解を広めるとともに、手話だけでなく現場活動に必要なコミュニケーション方法を習得するため、模擬実習を取り入れた指導を行いました。
- 聴覚障害者の雇用をきっかけにしたものだけでなく、接客などの業務に役立つ為に手話や聴覚障害について学ぶ機会を持たれる企業がありました。
- 講師現任研修を3回実施しました。

## 2. 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

### (1) 手話通訳者派遣事業

- 労働分野は、企業などの研修への派遣が主で、新規採用者の研修では、聴覚障害者が初めて情報保障を利用することもあります。本年は新型コロナウイルス感染防止のため、インターネットを利用した入社式、定年式、研修が取り入れられ、映像からの音声や手話を通訳する場面が増えました。
- 放送分野では、県広報番組に協力しました。  
新型コロナウイルス関連の知事会見の通訳依頼に対応しました。



|    | 医療 | 人権 | 労働  | 住居 | 教育<br>保育 | 社会<br>生活 | 福祉<br>推進 | 文化<br>教養 | 講座 | 放送 | 啓発<br>講座 | 合計  |
|----|----|----|-----|----|----------|----------|----------|----------|----|----|----------|-----|
| 件数 | 0  | 1  | 130 | 0  | 0        | 0        | 5        | 0        | 42 | 23 | 0        | 201 |
| 人数 | 0  | 1  | 225 | 0  | 0        | 0        | 9        | 0        | 48 | 35 | 0        | 318 |

### (2) 要約筆記者派遣事業

- 自主事業の派遣件数は、25件(前年比3件減)63人でした。企業の毎月の定例会議や研修への派遣を実施しました。
- 依頼企業と調整会議を行い、課題を解決することができました。前向きな内容で、良好な関係を築けました。

## 3. 「手話タイム・プラスワン」(県広報番組)協力事業

- びわ湖放送において県政ニュースを手話と字幕で伝える番組「手話タイム・プラスワン」(年間20回)への制作協力を行いました。
- ①手話キャスター、聴覚障害者アシスタント、健聴者アシスタントを、各回1名ずつ派遣しました。
- ②センターの事業案内のほか、「きこえの相談」の周知や聴覚障害への理解に役立つ時事情報などの周知に努めました。また、番組内「きこえないひとのコミュニケーション(ミニ手話教室)」においては、季節にあわせた日常的な手話を紹介し、聴覚障害者だけでなく広く県民へ周知しました。

## 4. 聴覚障害者用ビデオ制作事業

- 聴覚障害者が様々な情報にアクセスできるよう、行政機関や団体などからの依頼に応じて手話や字幕挿入や、聴覚障害者のための映像制作を行っています。
- 今年度は、コロナウイルス感染症の影響でオンライン研修が増え、全日本ろうあ連盟手話言語法定推進本

部や社会福祉法人全国手話研修センターより依頼があり、理事長の講義の収録、編集をいたし、納品しました。

## 5. 聴覚障害者向けITサポート事業

この事業は滋賀県よりITサロン事業の委託を受け、滋賀県立聴覚障害者センターにおいて、月曜～金曜 9時30分～18時00分、主に県内の聴覚障害者を対象に、ITに関する支援をしています。随時相談支援をしました。

[相談件数]

|      |    |      |    |
|------|----|------|----|
| 相談人数 | 69 | 相談件数 | 55 |
|------|----|------|----|

[相談内容と件数]

|           |    |  |
|-----------|----|--|
| 電話リレーサービス | 9  | 利用者登録 ホーム画面の登録方法など                         |
| スマートフォン操作 | 14 | キャッシュアプリやPay(支払)の仕組み(3件)<br>迷惑メール防止方法(11件) |
| アイ・ドラゴン4  | 2  | 申請、ネットワーク設定、アイ・ドラゴン4の設定                    |
| PC操作      | 10 | ZOOMやGooglemeetなどオンライン会議の設定                |
| ネットワーク設定  | 18 | 通信環境(Wi-Fi)の整備(5件)、通信速度の低下(6件)、データ量の制限(7件) |
| 購入・料金等    | 2  | パソコンの購入、OSのバージョンアップについて                    |
| 計         | 55 |  |

- ・コロナウイルス感染症予防などによる新しい生活様式として、オンライン会議やオンライン研修が増えて、その設定方法や操作方法の相談がありました。
- ・また、キャッシュレス決済や、電話リレーサービス、ビデオ電話の利用によるデータ量の制限、迷惑メール防止方法など、相談内容は幅広くありました。
- ・自宅のインターネット環境(Wi-Fi環境)の相談も例年より多く見られました。

## 6. 電話リレーサービス事業

(日本財団モデルプロジェクト委託及び厚生労働省:高度情報通信等福祉事業費国庫補助)

- 2013年9月より日本財団によるモデルプロジェクトとして参画しています。
- 2019年度に引き続き厚生労働省が高度情報通信等福祉事業費の国庫補助金を受け、全国の情報提供施設で7拠点(12施設)で対応し、滋賀では夜間(18時～21時)と平日の一部を京都及び大阪へ委託しています。
- 専用プラットフォームはこれまでどおり、日本財団のものを使用 全国13,182名(令和3年3月31日現在)の登録者を対象にサービスの提供を行っています。
- 電話リレーサービスの制度化の動きについて、法律に基づき電話リレーサービス提供機関として一般財団法人日本財団電話リレーサービスが業務を行い2021年7月から本格的な稼働に向けて準備が進められています。
- 対応日時 月曜日から金曜日(祝日、年末年始を除く) 10時～21時  
※水曜日および2019年9月からは木・金の16時からが京都が対応。および18時から21時については 月・火は大阪、水から金は京都が対応

○実績

| 件数    | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合計     |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 10-18 | 976  | 926  | 1086 | 1016 | 1010 | 979  | 1161 | 1030 | 1092 | 929  | 957  | 1182 | 12,344 |
| 18-21 | 333  | 176  | 327  | 348  | 281  | 274  | 349  | 339  | 351  | 245  | 303  | 404  | 3,730  |
| 計     | 1309 | 1102 | 1413 | 1364 | 1291 | 1253 | 1510 | 1369 | 1443 | 1174 | 1260 | 1586 | 16,074 |
| 手話    | 468  | 412  | 477  | 422  | 394  | 357  | 433  | 445  | 419  | 386  | 390  | 515  | 5,118  |
| 文字    | 841  | 690  | 936  | 942  | 897  | 896  | 1077 | 924  | 1024 | 788  | 870  | 1071 | 10,956 |

## 7. 大津市聴覚障害者相談員設置事業

この事業は大津市より委託を受け、大津市在住の聴覚に障害のある方々の地域生活支援を行います。

[年間活動件数]

|  |    |      |    |         |      |       |    |
|--|----|------|----|---------|------|-------|----|
|  | 訪問 | 来所相談 | 同行 | メール・FAX | 関係機関 | 出張・交流 | 合計 |
|--|----|------|----|---------|------|-------|----|

|    |    |   |    |    |     |    |     |
|----|----|---|----|----|-----|----|-----|
| 人数 | 38 | 9 | 18 | 98 | 106 | 50 | 350 |
| 回数 | 17 | 8 | 15 | 91 | 123 | 17 | 274 |

[個別支援状況]

|    | 福祉サービス利用 | 障害や病状理解 | 健康・医療 | 不安解消・情緒安定 | 保育・教育 | 家族・人間関係 | 生活技術 | 就労 | 社会参加・余暇活動 | 福祉推進・啓発 | 合計  |
|----|----------|---------|-------|-----------|-------|---------|------|----|-----------|---------|-----|
| 人数 | 65       | 22      | 40    | 6         | 1     | 28      | 32   | 5  | 104       | 47      | 350 |
| 回数 | 66       | 23      | 48    | 6         | 1     | 26      | 38   | 6  | 41        | 19      | 274 |

[開催企画]

①「おおつ・みみサロン」（目的：生活情報の講座と交流）

・新型コロナウイルス感染拡大により企画の中止や変更がありました。10月は感染予防のため調理企画は調理室の利用人数の制限のため開催できませんでした。防災企画は当初1月に冬の家庭火災の予防を目的に実施の予定でしたが、3月に延期となりました。

|     | 日程                  | 会場              | 内容   | 参加人数            |
|-----|---------------------|-----------------|--|-----------------|
| 第1回 | 5月28日(木)<br>10時～12時 | 膳所あんしん長<br>寿相談所 | 「高齢福祉サービスを知ろう」講師：膳所あんしん<br>長寿相談所<br>新型コロナウイルス感染拡大により中止                         | -               |
| 第2回 | 7月2日(木)<br>10時～12時  | ふれあいプラザ<br>大津   | 「手作りしよう！かわいい動物」<br>講師：ポニークラフト 藤井真紀 視本岡こづ枝氏<br>*かわいいハリネズミを仕上げようと懸命に針で毛糸をつつきました。 | ろう者9名<br>難聴者6名  |
| 第3回 | 10月1日(木)<br>10時～14時 | 木戸リサイクルセ<br>ンター | 「リサイクルエコバッグを作ろう」講師：坪井由美<br>子氏 *電車で木戸まで移動。初めてミシンを使う<br>男性もエコバッグを仕上げることができました。   | ろう者4名           |
| 第4回 | 3月11日(木)<br>10時～12時 | ふれあいプラザ<br>大津   | 「家庭の火災予防と緊急通報」講師：大津市消防<br>局 *自分のスマホにアプリをダウンロードし試験通<br>報まで体験しました。               | ろう者16名<br>難聴者7名 |

②「おおつきこえの福祉講座」（聞こえや補聴器に関する情報講座）

自治会から依頼を受けて9月に出張版きこえの福祉講座を行いました。

| 日程                             | 会場             | 内容(実施方法等)   | 参加人数 |
|--------------------------------|----------------|---|------|
| 9月3日(木)<br>13時～14時             | 北大路三丁目<br>自治会館 | 講義「聞こえにくいと感じたらどうしたらいいの？」講師：滋賀県<br>中途失聴難聴者協会 宿谷 辰夫氏  | 31名  |
| 9月17日<br>(木)<br>13時30分<br>～16時 | ふれあいプラ<br>ザ大津  | 1. 当事者発表「聞こえの低下を感じて」パネラー：滋賀県中途<br>失聴難聴者協会 島田 由美氏、保育士 白子 和栄氏<br>2. 補聴器を使った生活 パネラー：マスダ補聴器センター<br>3. ディスカッション テーマ「聞こえにくさと共に生活する」 | 4名   |

[出張相談]（居住地の公民館で行うきこえの個別相談）

①大津きこえの出張相談（大津市内公民館で実施）

・今年度は膳所・堅田・日吉台・田上公民館で一人40分の個別相談を行いました。  
・言語聴覚士による相談回と、認定補聴器センターによる相談回に分けて実施しました。

| 実施日 | 6月11日<br>(木) | 6月18日(木) | 7月9日(木) | 10月15日<br>(木) | 11月19日<br>(木) | 12月10日<br>(木) |
|-----|--------------|----------|---------|---------------|---------------|---------------|
| 会場  | 田上公民館        | 膳所公民館    | 堅田公民館   | 日吉台公民<br>館    | 膳所公民館         | 堅田公民館         |
| 時間  | 13-14時       | 11-15時   | 10-12時  | 10-12時        | 13-16時        | 10-12時        |

|     |         |               |         |         |         |         |
|-----|---------|---------------|---------|---------|---------|---------|
| 協力者 | 補聴器センター | 補聴器センター、言語聴覚士 | 補聴器センター | 補聴器センター | 補聴器センター | 補聴器センター |
| 相談者 | 1名      | 4名            | 2名      | 1名      | 4名      | 1名      |

②個別相談（大津市障害者福祉センターで待機相談）新型コロナ感染拡大で4, 5月は中止になりました。

【開催日】6/24、7/22、8/26、9/23、10/28、11/25、12/23、1/27、2/24、3/24 【時間】13-15時

【人数 11名】

ろう者と生活に関するやり取りが主でした。

## 8. 手話・要約筆記ボランティア養成事業

(第79回国スポ・第24回障スポ大会滋賀県開催準備委員会受託事業)

大会に参加する聴覚障害を持つ選手、監督、役員、一般観覧者への情報保障や情報提供をおこなうため、手話・要約筆記ボランティアの養成事業をおこないました。

手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議の開催(2回)

|     | 日時                      | 会場                    | 参加人数 |
|-----|-------------------------|-----------------------|------|
| 第1回 | 8月20日(木)<br>13:30~15:30 | 滋賀県大津合同庁舎会議室 7階 7D会議室 | 20名  |
| 第2回 | 1月22日(金)<br>13:30~14:30 | 滋賀県立聴覚障害者センター 研修室     | 18名  |

\*連絡協議会構成団体

滋賀県ろうあ協会、滋賀県中途失聴難聴者協会、滋賀県手話サークル連絡協議会、滋賀県手話通訳問題研究会、全国要約筆記問題研究会滋賀支部、滋賀県社会福祉協議会、滋賀県障害者スポーツ協会、びわこ学院大学、滋賀県障害福祉課、彦根市障害福祉課、当法人滋賀県聴覚障害者福祉協

手話サークル・要約筆記サークルの実態調査の実施

1回目調査(7月末)(回答率80.5% 29/36校)

対象:各市町障害福祉主幹課、各市町社会福祉協議会、県内にある各大学・短大・専門学校

調査項目:手話サークル、要約筆記サークルの有無

2回目調査(9月)\*回答は随時受付中

対象:県内の手話サークル75、要約筆記サークル11、大学内の手話サークル2

調査項目:会員数、活動日時、時間帯、会員の職業の構成、手話・要約筆記の資格保有者

鹿児島国体・全国障害者スポーツ大会の視察は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、両大会が令和5年(2023年)に延期されたため、視察できませんでした。

三重県(2021年度開催県)へのヒアリングは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪問を中止しました。

福井県(2018年度開催県)へのヒアリング

日時:令和2年(2020年)11月5日(木)午後1時から3時半

場所:福井県聴覚障がい者センター

出席者:福井県聴覚障がい者センター3名 滋賀県国スポ・障スポ大会課 2名

滋賀県聴覚障害者福祉協会 木下、山口、川瀬

出前講座、啓発セミナーの実施

出前講座は、県内市町で活動されている手話もしくは要約筆記サークル等を訪問し、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の機運を高めるとともに、両大会へのボランティア参加を呼びかける啓発活動です。2020年度には県内にある手話・要約筆記サークル10サークルに派遣しました。

| 出前講座                | 開催日       | 参加人数 |
|---------------------|-----------|------|
| 1 甲賀手話サークル「ともだち」    | 11月11日(水) | 8名   |
| 2 栗東手話サークル「オレンジデイス」 | 11月18日(水) | 9名   |
| 3 湖南手話サークル「あじさい」    | 12月1日(火)  | 16名  |
| 4 野洲手話サークル「ひまわり」    | 12月20日(日) | 10名  |

|        |                  |                         |     |
|--------|------------------|-------------------------|-----|
| 5      | 米原手話サークル「あゆみの会」  | R3年1月29日(金)             | 10名 |
| 6      | 米原手話サークル「星の原」    | 2月3日(水)                 | 12名 |
| 7      | 大津手話サークル「むすびの会」  | 3月4日(木)                 | 18名 |
| 8      | 長浜手話サークル「はまゆうの会」 | 3月8日(月)                 | 20名 |
| 9      | 高島要約筆記サークル「虹」    | 3月16日(火)                | 9名  |
| 10     | 東近江手話サークル「ノアの会」  | 3月20日(土)                | 20名 |
| 啓発セミナー |                  |                         |     |
| 1      | 草津市立まちづくりセンター    | 3月13日(土)<br>13:30~14:30 | 60名 |

## 2020年度（令和2年度）びわこみみの里 事業報告

### (1) 障害福祉サービス事業実施状況（定員30名中現員26名）

- ①自立訓練(生活訓練)事業 定員 6名 現員3名
  - ・個別支援(軽作業訓練等)
- ②就労移行支援事業 定員 6名 現員 3名
  - ・個別支援(就労支援)
  - ・SST学習適宜実施
  - ・OB・OGスマイル会支援 コロナ禍休止中
  - ・就労アセスメント 4件
- ③就労継続支援B型事業 定員18名 現員20名
  - ・個別支援(就労事業実施)
- ④就労定着支援事業 現員3名
  - ・3年間1ヵ月毎訪問、随時相談支援
- ⑤送迎サービス(21名、他は自力通所)
  1. 草津コース 約60分(〇宅-T宅4-K宅-洲本停-みみの里)  
N宅は別途車イス用送迎(週1.5回)
  2. 野洲コース 約40分(野洲駅-樹-M宅-Y宅-みみの里間)
  3. 堅田コース 約40分(堅田駅-琵琶湖大橋東詰-H宅-みみの里)
- ⑥施設外支援・就労
  - ・Y氏畑作業(毎日)

※東洋産業内作業はコロナ感染拡大対策のため停止中
- ⑦その他適宜関連機関とのケース会議等多数あり

### (2) 入退所等

|        | 入所 | 退所     |        |
|--------|----|--------|--------|
| 生活訓練   | 0名 | 0名     |        |
| 就労移行支援 | 1名 | 1名(在宅) |        |
| 就労継続B型 | 0名 | 1名(在宅) |        |
| 就労定着支援 | 0名 | 0名     |        |
| 合計     | 1名 | 2名     | 増減 -1名 |

### (3) 就労事業実施状況

- ①サロン・ド・カフェ営業販売 営業は週3日(水曜pm～金曜)
  - ※11月末にて完全終業(菓子縫製品販売適宜実施)
- ②菓子製造 作業週4日
  - 広告注文受け、出張販売主体
- ③縫製 不定期縫製作業受注
  - 独自手作り・縫製品を製造しショップ、イベント等で販売
  - 受注縫製製造販売
  - 就労事業振興センター共同事業「steed」バッグ(競走馬ゼッケン帆布)の製造販売
- ④エコ・軽作業
  - 高畑産業、ヒロノ技研、山豊テグス、守山玩具、JPF等下請け作業
  - 廃棄ケーブル被覆除去作業
- ⑤施設外就労 Y氏畑作業・収穫品袋詰め作業
  - 滋賀県庁内パソコン清掃業務(不定期)
- ⑥就労会計 工賃向上に関する取り組み
  - 2020年度はコロナ感染拡大により、各種行事・イベントの開催が難しくなり、従来のお菓子や縫製品の販売機会がなくなりました。
  - このような状況下で新しい販売方法として、商品のカタログを配って個人や団体から注文をいただく方法に取り組みました。関係団体・手話サークル等からたくさんの注文をいただき、商品の販売は好調でした。

また、水保町自治会から各家庭に配るお菓子の中にみみの里の商品を採用していただき、たくさんの注文をいただきました。

縫製品ではマスクづくりに取り組み、県立聾話学校の幼児・児童にプレゼントしたのを皮切りに販売をすすめ、こちらも好調でした。児童虐待防止啓発団体とコラボしたオレンジボンマスクは新聞でも取り上げられました。

地元の銀行や百貨店での展示・販売を行い、それを見た方がみみの里まで来られ商品を購入していただいたこともありました。

さらに、地域とより関係性をつくることを目的の1つにし、地元守山市笠原町の伝統野菜の生姜を使ったクッキーも製造しました。

このような取り組みにより、コロナ禍で大幅な減収が予想された中、昨年より1割の減収に止めることができました。特に新しい販売方法に取り組むことによって販売だけを見ると昨年度比120%増となりました。

2021年度もコロナ禍の中でもできることを考え、売り上げアップを図るために、スタッフの活動を広げていきます。

#### **(4) 会議・研修等**

##### ①全体職員会議 2.5時間位

(別途「運営」「支援」「作業」会議各月1回1時間開催)

5/25、6/29、7/27、8/31、9/28、10/26、11/24、12/21、1/25、2/22、3/22

##### ②外部会議

- ・ 湖南地域障害者サービス調整会議(田中) 11/27
- ・ 湖南地域障害者サービス調整会議進路部会(田中) 2/5
- ・ 守山市障害者自立支援協議会(板垣) 7/28、1/26、3/23(田中)
- ・ 守山市障害者通所施設連絡協議会(板垣) 7/10、9/11、11/13、3/12
- ・ 守山市計画相談事業所連絡会(田中・太田) 6/23、8/25、12/22、2/16
- ・ 守山市ふれあいフェア実行委員会(板垣) コロナ禍中止
- ・ 守山市防災施設会議(北川) 3/22
- ・ 聾話学校授業見学意見交換会(横田) 1/22

※コロナ禍で例年会議の中止多し

##### ②職員研修

7/25 法人全職員研修(聴覚障害者センター)

2/25 きょうされん理事会研修会(北川、田中)

※コロナ禍により研修機会ほとんど中止

##### ③スタッフ学習

6/18 新型コロナウイルス感染防止学習

9/10 人権(ハラスメント)学習

#### **(5) 出店・イベント・レク等**

9/17 滋賀グリーン活動ネットワークWeb見学会

9/19 県手話サークル連絡協議会発表会出店

11/13 びわこ地球市民の森「もりマルシェ」出店

11/17・20 ピエリ守山 出店

12/15~23 滋賀銀行トレセン前支店にて縫製品等展示会

2/15~23 近鉄百貨店草津店「ワン(1番)ダブルSHIGA」にてstead販売

※コロナ禍でほとんど中止。若干手話サークル等への出張販売あり。

#### **(6) 体験実習・職場実習受入等(入所予定者の事前実習は除く)**

12/14~16 野洲養護学校就労アセスメント実習生

他コロナ禍により中止あり。

#### **(7) 施設見学**

11/10 高島市手話講座生

11/28 東近江市・守山市手話講座生合同

1/19 守山学区福祉協力員

その他個人数名見学などあり

#### **(8) ボランティアの支援・交流会等**

現在ボランティア登録者約30名

・グループ「ポパイ&オリーブ」（略称ポパリ）協力

自主活動（縫製作り・花壇畑育成等）随時みみの里内にて

・スタッフとの交流会（ボランティア数名参加）

コロナ禍で中止

その他、縫製品デザイン、技術指導ボランティア週1～2回数名

2名の固定ボランティアによる各スタッフへのパソコン指導週1回

※12月末をもって終了

他常時1～数名の各種協力ボランティア有り

#### **(9) 地域交流**

6/27 水保町臨時総会（北川・田中）

8/23 水保町河川清掃（田中）

11/29 水保町美化草刈り活動（太田）

他、水保町自治会より地域振興・敬老のお祝い等のプレゼントに商品の注文をいただきました。また、町内の掲示板や回覧板に商品のチラシを掲示していただくことができました。

#### **(10) 施設の会議利用等**

8/10 滋通研学習会

11/ 7 滋通研湖南班会

#### **(11) その他**

・ 4/～ 昨年度末に続きコロナウイルス感染拡大に伴う非常事態宣言等を受け各種会合、催しが中止となり、臨時休所を5日行う。

4/24、4/28、4/30、5/12、5/14。また、送迎も特別体制をとる。

・ 5/19 法人内部監査

・ 7/22 火災避難訓練

・ 11/ 5 スタッフ歯科健診

・ 2/17 スタッフ健康診断

・ 3/18 専任通訳者会議へのみみの里事業説明（利用者拡大に向けての取り組み）

・ 3/22 火災避難訓練

#### **(12) 障害者相談支援事業**

##### **1. 特定相談支援事業ふくみみ**

対象8名支援計画作成およびモニタリング実施。

##### **2. 就労よろず相談事業**

4件あり。

##### **3. その他 特になし。**



## 2020年度（令和2年度）湖北みみの里 事業報告

### <施設経営の経営方針>

- 1 すべての利用者にとって、元気で楽しく笑顔いっぱいの生活が送れるようにします。
- 2 すべての利用者が得意とする労働を通じて輝けるようにします。
- 3 手話、筆記その他のコミュニケーション環境を保障し、情報提供機能を高め、すべての利用者にとって語らい、情報を共有でき、学びの場となるようにします。
- 4 手話や手話で様々な情報・知識を学び、それらを地域に発信していただけるようにします。

### <スタッフ(利用者)の状況> (2021年4月1日現在)

- ・登録者－19名(内 視覚障害を併せ持つ人3名 知的障害を併せ持つ人2名)  
コロナ感染予防のため、N女史休みの状況
  - ・1日平均利用者数－14.3名
  - ・年齢20歳～87歳 平均年齢 62.5歳
  - ・米原市在住7名 ・長浜市9名 ・彦根市在住3名(内1名休み)
  - ・男性7名 ・女11名
  - ・7月7、8日→大雨警報による休所
  - ・7月14日→大雨警報、洪水警報、土砂災害警報による休所
  - ・夏季休暇による休所(8月13、14日)
  - ・10月→職員の頸肩腕検診の受診による休所
  - ・2月18日→大雪警報による休所
  - ・スタッフの健康問題→①7月8日の深夜から3週間入院 現在、通常生活  
②目の手術後、自宅で過ごす(12月～2月初め頃) 現在、通常生活
- \*現在、新型コロナウイルス感染症防止対策により、6月1日から1日勤務短縮(10:00～15:00) 昼食・時間差交替→継続中(2021年3月まで予定) 多目的室、食堂にて飛沫防止パネル設置 現在のところ感染者なし。

### <職員の状況> (2021年4月1日現在)

#### 【職員体制】

- ・管理者 1名
- ・サービス管理責任者 1名(管理者兼務)
- ・生活支援員 2名(週3日勤務 1名)
- ・職業指導員 4名(週3日勤務 3名 1日6時間週4日勤務 1名)
- ・目標工賃達成指導員 1名
- ・T氏→米原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議委員(地域アドボケートの立場)

#### 【健康状況】

- ・健康診断→全員受診済
- ・頸肩腕診断→1人除いて、全員受診済
- ・インフルエンザ予防接種→全員接種済

### <具体的な取り組み>

#### 1. 障害福祉サービス事業実施状況

- (1) 就労継続支援B型事業 定員20名 現員 19名(2020年4月1日現在)
  - ①班作業
    - ・木工・縫製・もぐさ・リサイクル・農作業・生パスタ製麺・受注作業
  - ②送迎サービス
    - 2コース－旧長浜・虎姫コース 米原コース 彦根コース(週1回)
  - ③おたのしみ企画(毎月1回 水曜日)
  - ④いきいき教室企画(年4回 水曜日)

⑤個別相談→中間モニタリング会議→2020年9月30日実施済

年間モニタリング会議→2021年3月24日予定

⑥避難訓練→1回目9月16日「避難訓練、通報訓練、消火訓練、地震体験」

2回目2021年3月10日(水)「避難訓練、通報訓練」

○障害福祉サービス報酬費

2020年4月～3月度 27,070,330円 2019年4月～3月度 21,334,022円

\*福祉・介護職員処遇改善加算→2019年度実績報告書の提出済 加算総額→427,825円

2020年度申請→提出しない

○重要事項説明書の変更一覧表の交付→全員交付済

## 2. 就労支援事業実施状況

(1) 就労支援会計

①収支状況(収益)

|    | 2020年度<br>収入 | 2020年度<br>支出 | 2020年度<br>収益     | 2019年度<br>収益     | 差額      |
|----|--------------|--------------|------------------|------------------|---------|
| 合計 | 2,667,175    | 222,389      | <b>2,444,786</b> | <b>1,637,191</b> | 807,595 |

○今年度は新型コロナウイルスの影響で、序盤から内職の受注が減少し、出店に関しては1年通して数えるほどしかなかった。しかし、新たな内職作業の確保、生パスタの販路拡大(よもぎパスタ含め)、新型コロナ感染対策商品(飛沫防止パネル、マスクなど)の注文製作などに力を注いだ結果、前年度を上回る収入をあげることができた。

しかし、工賃アップにつながるほどの収益には遠く、更に販路拡大など収入源の確保が必要になってくる。加えて、スタッフの高齢化により木工や縫製など湖北みみの里の特徴である技術の継承が困難になることが予想され、作業自体の見直しも考えていく必要があり内職などの受注作業や製作を簡単には増やしていけない現状がある。

スタッフの状況にだけ合わせた作業を考えると職員の負担も大きくなってしまう。

以上のことから、状況に合わせた職員・スタッフの作業のバランスと作業の中身、販路拡大、新しいスタッフの獲得が課題となってくる。

②工賃実績報告

|    | 2019年度工賃   | 2020年度工賃   |
|----|------------|------------|
| 合計 | ¥2,359,938 | ¥2,433,302 |

(2020年度工賃の中に、3月決算ボーナス含む)

○新型コロナウイルスにより5月～6月は緊急事態宣言中で密を避けるためにスタッフの通所日数に制限を設け、作業時間も短縮を行った。6月以降、日数の制限は廃止したが時間短縮は年度末まで継続。そのため前年度に比べて工賃支払いが少し減少している。しかし、前年度に比べてスタッフの通所日数が増えていることもあり大幅減にはなっていない。

昨年度より少しずつではあるが収入源の確保が出来つつあり、収入増につながっているが工賃アップにつなげられるほどの収益にはなっていない。

(2) 班別作業の報告

①木工

新型コロナの影響で、下記の注文

飛沫防止衝立(立看形)→音楽堂から25個注文

飛沫防止衝立(卓上型)→長浜市社協から1個注文

湖北みみの里の多目的室、食堂、事務室に配置済

滋賀県ろうあ協会事務所のドア

○昨年度より、自主製品の製作を絞ったものにし、注文品を多くつくることを目指していた。今年度は新型コロナウイルスの影響で出店や団体の見学がほとんどなかったために自主製作はほとんど行わなかった。

上記の内容通り、新型コロナウイルス感染防止の注文が多数あり大きな収入を得ることができた。そのほかにも木工で注文ができるということが少しずつ広がっており、個人、社協などからも注文を得ることができるようになっている。しかし、木工の技術を持っているスタッフが高齢ということもあり技術の継承が困難な面があり今後どのように続けていくかが課題となる。

|    | 2019年度   | 2020年度   | 前年度比     |
|----|----------|----------|----------|
| 合計 | ¥144,705 | ¥310,955 | ¥166,250 |

## ②縫製

◎新型コロナの影響により、布マスク 212 枚の注文があった。

徐々にマスクの供給が落ち着いてきたので 12 月以降は注文が減少。次年度も減少する見込み。

◎6 月よりマルチスイッチとのコラボ製作が始まる。

車椅子使用者と「車椅子使用者の洋服づくり(フォーマルな服装)」→33 日より 10 月号掲載

車いすユーザーのためのフォーマルを 2 着とカジュアルスカート 5 着を製作。

フォーマル 2 着：47,500 円、カジュアルスカート 5 着：39,800 円

帯リュック 1 点：22,000 円 合計：109,300 円

マルチスイッチとのコラボ状況→別紙の資料あり(新聞記事)

米原市社会福祉協議会が創設する補助金制度「まいばらコラボチャレンジ事業補助金」にマルチスイッチと共に申請を行う。

補助金の申請が許可されれば、次年度よりマルチスイッチと共同でコラボ製品の製作が開始する予定。

◎種子袋の内職を開始。月に 1 箱 (65×1800 枚、45×2000 枚の 2 種類) 納品することを作業目標とする。

令和 3 年 2 月：1 箱

18,000 円 (65×1800 枚) - 2,432 円 (郵送代) = 15,568 円

令和 3 年 3 月：2 箱

18,000 円 (65×1800 枚) + 20,000 円 (45×2000 枚) - 3,438 円 (郵送代)

= 34562 円 ※令和 3 年 4 月入金予定

◎寄付していただいた和柄生地を使い、湖北みみの里独自の作品として、「つまみ細工」の製作を提案。縫製班のスタッフにも説明する。

現在は、種子袋の内職が中心であることと、コロナ禍によるイベント等の開催の見通しが立たない事により「つまみ細工」を出品する機会が具体的に定められないため、どのように作業計画を進めるか検討中。

## ③もぐさ

例年通り、新伊吹紙筒(並・ビワ)、円形もぐさ、桝おんきゅうに加え、11 月と 2 月には新しい仕事として銀板(木の板を銀色に染める仕事。木工班担当)もあった。1 か月平均 1 万円前後の収益。スタッフが円形もぐさを作る工程に職員の確認作業を入れた。途中で確認作業をせずに、最終確認のみをしている時は、仕上がりがとても雑で納品できる状態ではなく職員がやり直していた。途中で職員の確認作業をいれると、きれいに仕上げられるようになってきた。

## ④リサイクル班

年度当初は、アルミ缶にスチール缶が混じり指摘を受けた。現在は職員が一緒に作業し混じることはない。潰したアルミ缶を入れる袋の強度が足りない。適当なものが

ない。

アルミ缶→1 キロ 現在 120 円(2021 年 4 月現在)

4 月～3 月の合計 81,200 円

米原市西区自治会の協力を得た(3 か所)

#### ⑤農業

長浜合同青果より野菜加工作業の受注を受けたが、3 回しか依頼がなかった。次年度  
どうするか検討。里芋、ネギの販売 3,940 円 販売できる品目を検討。

#### ⑥生パスタ製造

(プレーン生パスタ麺)

注文先→愛ランド(施設分、個人分)

米原市役所 6 月より販売開始

米原庁舎 第 1 木曜日 近江庁舎 第 1 金曜日

伊吹庁舎 第 2 木曜日 山東庁舎 第 2 金曜日

(いずれも 12 時～13 時 販売)

個人注文 23 件 (内、宅配発送 6 件)

随時 ふるさと、ほおずき、通研例会、会議先など

(よもぎ生パスタ麺)

ローザンベリー多和田の専用販売契約済 最初納品 7 月 20 日 95 玉

7 月～3 月 売上玉数 1,609 玉

売上額 310,969 円

製麺回数

4 月 4 回、5 月 2 回、6 月 5 回、7 月 8 回、8 月 7 回、9 月 6 回、10 月 6 回、  
11 月 7 回、12 月 6 回、1 月 4 回、2 月 6 回、3 月 10 回

|      | 2019 年度  | 2020 年度    | 前年度比 |
|------|----------|------------|------|
| 売上合計 | ¥714,775 | ¥1,159,744 | 162% |
| 玉数合計 | 4,224 玉  | 6,578 玉    | 156% |

※2020 年度玉数にはよもぎ生パスタも含まれる

\*10 月 16 日、米原市の平尾市長へのよもぎパスタ麺完成報告 記者会見

\*米原市政策推進課からふるさと納税の返礼リストに(プレーン生パスタ麺)を掲載済

7 玉セット(寄付額 5,000 円以上)→1 月～3 月 23 件

25 玉セット(寄付額 19,000 円以上)→2 月 2 件

\*米原市長秘書室より社会福祉課を通じて、「ぼでじゃこ倶楽部」(フリーパ)の米原市か  
らの情報として「市長訪問など」欄に載せるように指示があり、掲載済

〈成果〉・よもぎ生パスタ麺の販売が開始できた。

・販売先や注文の増加により、毎週 1～2 回の製麺が安定して行えるようになった。

・個人注文が増えている。特定の販売先は当然大事だが、個人注文の増加も貴重で  
ある。

・コロナ禍で出店が全くなかったにも関わらず、売り上げが前年度比 150%近いの  
は大きな成果である

#### ⑦受注作業

ゴムパッキン、仕付け糸の商品化、釣り具の商品化、ネジの袋詰め作業(新規)等  
種子袋の縫製作業(新規)→1 か月 1 箱(2,000 枚、1,800 枚の 2 種類)は納品予定  
1 枚 10 円

○新型コロナウイルスの影響により、年度初めから作業量が減少。そのため、新規の

作業を開拓することになった。そして、減少していた作業も徐序に通常に戻ったために内職の収入は前年度を上回ることができた。

現在のスタッフの状況に合わせるとこれ以上受注数を増やすことはできず、更に収入増を目指すことを考えると作業バランスを再度考え直さないといけない。最低限収入をキープしながら、状況に合わせた作業の獲得が課題となる。

|    | 2019年度   | 2020年度   | 前年度比 |
|----|----------|----------|------|
| 合計 | ¥293,417 | ¥437,001 | 149% |

#### ⑧その他

### 3. 出店販売実施状況

- ・滋賀県手話サークル連絡会イベント 9月19日
- ・ほおずき作業所バザー 10月1、2日
- ・滋賀県手話通訳問題研究会例会 2月6日

### 4. お楽しみ企画実施状況

- ・4月15日 体力測定
- ・6月24日 誕生会&バーベキュー
- ・8月19日、10月14日、11月18日、12月16日、1月27日、2月10日 「生い立ち」
- ・9月30日 誕生会
- ・12月23日 誕生会&クリスマス会
- ・3月3日 成人祝い会

○生い立ちは、スタッフ一人がみんなの前に出て話してもらっています。話が終わった後、自由に質疑応答して、「そんなことがあったね」という雰囲気になった。

○誕生会は、みんなが待ちに待ちになっている企画である。

○これまでのない成人式を企画してみた。成人を迎えたスタッフはみんなに祝されて、大人の入口を意識できたと思う。

### 5. いきいき教室実施状況

- ・2月17日に防犯教室の実施予定：米原警察署の都合で中止

○中止となったことは残念である。

○健康相談・・・実施無し

### 6. 会議・研修等

#### (1) 職員会議&作業・生活会議

毎月1回実施

必要に応じて都度実施

#### (2) 外部会議

##### ①長浜米原しょうがい者自立支援協議会

- ・事務局会議：毎月第一水曜日実施
- ・運営委員会A：2ヶ月1回開催、6月17日、8月19日、10月21日、12月16日、2月17日
- ・運営委員会B：5月14日、6月19日、7月17日、8月21日 その後休止
- ・権利擁護部会 5月～毎月第4水曜日実施(11月休み)
- ・新型コロナウイルス感染症対策PT会議：  
4月22日、5月11日、6月15日、7月20日、8月17日、9月14日、10月12日、11月16日
- ・全体会議：8月31日

②湖北地域しょうがい者支援事業所協議会

・6月12日、8月7日

③米原市手話施策推進会議

・第1回－7月20日、第2回－11月9日

④米原市障がい者計画等審議会

・第1回－9月29日、第2回－11月30日

⑤長浜市児童発達支援センター及び長浜市こども療育センター療育検討委員会

・11月12日

⑥滋賀県社会福祉審議会ユニバーサルデザイン推進検討委員会第2専門分科会

実施無し

(3) 職員研修

・ステップアップ21主催「感染症対策って何していますか？」

～危険予知トレーニングを活用したグループワーク～

7月30日 出席者 田邊 於：豊里町隣保館

・滋賀県長浜保健所主催「令和2年度感染予防対策研修会」

8月25日 出席者 中西 於：長浜赤十字病院

・滋賀県サービス管理児童管理責任者基礎研修 出席者 中西：修了済

・令和2年度湖北圏域障害福祉事業所若手職員向け連続講座プログラム

第8回～第14回 7講座（11月12日～2月4日）

出席者 高橋、堀：全講座出席済

7. 施設見学・取材等

【施設見学・取材】

4月－難聴者1名

10月－つつじ作業所利用者3名、職員1名

11月－福岡市ろう者6名

2月－米原民生委員児童委員2名

【会場使用状況】

4月－米原市聴覚障害者協会定期総会

6月－米原市社会福祉課と米原市聴覚障害者協会との打ち合わせ

米原市聴覚障害者協会のたまり場

滋通研班長・副班長会

7月－手話出前講座のテキスト作成

滋通研組織部学習会

第1回手話施策推進会議作業部会

8月－米原市聴覚障害者協会のたまり場

滋通研出前講座

滋通研湖北班班会

9月－滋通研出前講座

10月－手話体験学習テキスト案打ち合わせ

第2回手話施策推進会議作業部会

11月－米原小学校手話出前講座の事前打ち合わせ

米原小学校の出前講座の手話指導練習

12月－高齢聴覚障害者ニーズ調査の説明

高齢聴覚障害者ニーズ調査の説明

米原市聴覚障害者協会のクリスマス会

米原市聴覚障害者協会のたまり場

2月－米原・伊吹小学校手話出前講座振返り

第3回手話施策推進会議作業部会

3月－「咲む」上映会宣伝撮影

\*坂田小学校の学校行事、坂田スポーツ少年団等に駐車場提供（随時）

#### 8. 手話啓発：実施無し

#### 9. 施設設備備品等整備状況

- ・ノートパソコン2台、インターネット環境整備→障害福祉サービス施設・事業所における感染症対策徹底支援事業(35万3千円)
- ・製麺室ドア改修工事、仕切りパーテーション、空調服→在宅系事業所における感染症対策徹底に向けた環境整備への助成事業(20万円)
- ・米原市通所事業所体制強化補助→補助金の限度額：10万円 2月26日(領収書添えて)申請済

#### 10. その他

2020年4月13日 米原市長への訪問挨拶（職員の紹介(米原市民の雇用の場確保)

## 2020年度 聴導犬訓練事業報告

聴導犬訓練事業は、2015年から正式にスタートし6年経ちました。

今年度は、さんの聴導犬を持ちたいという希望に応え、具体化を考えましたが、コロナ禍のもと、取り組むことができませんでした。

事業計画で、(1)相談活動の柱 (2)啓発活動の柱(3)訓練・育成の柱(4)再訓練の柱(5)人間育成の柱(6)制度改善の柱(7)ファンドレイズの柱(8)寄贈された岡氏邸の活用についてという8つの柱を立てましたが、「啓発活動」「再訓練」の柱で動きがあった(あとの「ポッキーの活動報告」参照)ほかは、これもコロナ禍のもと、低調だったと言わざるを得ません。

また、岡氏邸の活用については、現場をどう使うか担当者で検討したが、結論を出すには至っていない。

### 2020.4.18～2021.3.2 ポッキー活動報告

| 日時         | 場所          | 備考                                    |
|------------|-------------|---------------------------------------|
| 2020.4.18  | ククルさん店      | トレーニング                                |
| 2020.6.9   | びわこみみの里     | トレーニング                                |
| 2020.6.23  | びわこみみの里     | 団体様 デモ                                |
| 2020.9.1   | びわこみみの里     | トレーニング                                |
| 2020.9.7   | 膳所診療所       | トレーナーさんも同行 呼び鈴誘導確認                    |
| 2020.9.12  | コミセン野洲      | 着物関係の企画依頼 デモ                          |
| 2020.9.16  | 守山市すこやかセンター | 守山市民生委員児童委員様 デモ                       |
| 2020.9.19  | 草津市サンサンホール  | 滋賀県手話サークル連絡協議会イベントに出演                 |
| 2020.10.9  | 守山市地域総合センター | 玉津小学校6年生自主活動 同行                       |
| 2020.10.16 | 草津市サンサンホール  | 頸腕健診に同行                               |
| 2020.10.24 | コミセン野洲      | 盲ろう者通訳介助者研修 同行                        |
| 2020.10.27 | びわこみみの里     | トレーニング                                |
| 2020.11.5  | 京都医療少年院     | デモ                                    |
| 2020.11.10 | びわこみみの里     | 高島市手話養成講座受講生 デモ                       |
| 2020.11.13 | 守山市地域総合センター | 玉津小学校6年生自主活動 デモ                       |
| 2020.11.14 | 守山市中洲小学校    | 中洲学区福祉のつどい デモ                         |
| 2020.11.17 | 草津市立山田小学校   | 小学4年生 デモ                              |
| 2020.11.20 | 速野公民館       | 速野社協 福祉体験講座依頼 デモ                      |
| 2020.11.28 | びわこみみの里     | 守山市手話養成講座受講生 デモ                       |
| 2020.12.15 | びわこみみの里     | トレーニング                                |
| 2020.12.16 | 佐川美術館       | 同行                                    |
| 2020.12.19 | 近江八幡市文化ホール  | イベント出演中止 (コロナ影響の為)                    |
| 2020.12.20 | 守山市すこやかセンター | 守山市子ども課様ひとり親ふれあい企画依頼 出演               |
| 2021.1.18  | 草津市農協       | デモ中止(コロナ影響の為)⇒代わりにDVD貸出県内農協さん各地で研修で使用 |
| 2021.1.19  | びわこみみの里     | 守山学区民生委員 デモ                           |
| 2021.2.14  | 栗東市さきら      | 映画鑑賞に同行                               |
| 2021.2.19  | 大阪駅界限       | 所用あり数時間出向                             |
| 2021.2.20  | 守山駅前コミセン    | 盲ろう者通訳介助者研修 同行                        |
| 2021.3.2   | びわこみみの里     | トレーニング                                |



2020年度では、新型コロナウイルス感染拡大のため、デモ活動も制限され、特に従来にあった京都市内各小学校や各イベントへの出向がなくなり、とても残念に思いました。しかし、上記リストには挙げていませんが、習い事や各種ワークショップ教室等にポッキーの同行に理解いただき、周りの方々に小さな啓発活動ができました。デモ活動が少ない分、コロナ感染防止対策をしっかりと行いながら、友人達にも協力いただき、積極的にポッキーと同伴で色々な所へお出かけでき、聴導犬アピールできありがたく思いました。しかし、2件大ショックな事がありました。ポッキーと私のみで外出の帰り、大阪駅で改札口からホームに下るエレベーターに乗った時、開閉扉で駅員より寸前止めに遭い、なかなか理解されずほんの数分間でも長く感じ、大きな駅だけに驚きと困惑で疲労しました。マスクでの会話がより困難に陥りました。また特に湖北湖東のあたりでは、補助犬の知識が薄いのでしょうか？各飲食店にことごとく入店拒否され、非常に悲しかったです。今後の課題に思います。